

令和5年6月12日
四国地方整備局河川部
四国山地砂防事務所

深層崩壊による河道閉塞（天然ダム）の発生を 想定したヘリコプターによる防災訓練を実施！

～土砂災害防止法に基づく緊急調査に備えた観測機器運搬訓練～

深層崩壊の発生によって河道閉塞（天然ダム）が生じ、上流側に大量の水が溜まった際には、土砂災害防止法に基づく緊急調査として、「投下型水位計」等によって迅速かつ的確に水位を計測することが求められます。

今回、緊急調査に備えた訓練として、徳島県・高知県県境の境川において河道閉塞が発生することを想定し、投下型水位計をヘリコプターで輸送する訓練を実施します。

◆土砂災害を想定したヘリコプターによる防災訓練

1. 開催日時・場所

- 令和5年6月19日（月）12：00～16：00
- 「にしみね」場外離発着場（高知県長岡郡大豊町西峯）
～想定観測地点「境川」（三好市西祖谷山村有瀬）
- 水位計のヘリコプターでの吊り下げ飛行は、14：00頃を予定していますが、当日の気象及び訓練状況等により若干のずれが生じる場合があります。

2. 訓練概要

- 別紙－1のとおり。

3. 訓練取材

- 訓練の取材を希望される場合は、下記の問い合わせ先まで連絡ください。
- 取材箇所については、訓練状況が目視できる大豊町・にしみね場外離発着場を予定しております。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする
大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問合せ先 （◎：主な問い合わせ先）

国土交通省	四国地方整備局 ◎課長補佐	河川部 河川計画課 相田 晴美（あいだはるみ）	TEL:087-851-8061
国土交通省	四国地方整備局 副所長（技術） 調査課長	四国山地砂防事務所 青木 朋也（あおきともや） 福井 慧（ふくいけい）	TEL:0883-72-5400

土砂災害を想定したヘリコプターによる防災訓練の実施について

■ 訓練日時：令和5年6月19日（月） 12時～16時

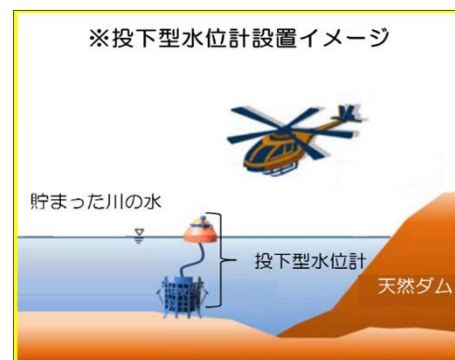
ヘリコプターの飛行は12時から16時頃の間で90分程度を想定しています。

地域住民の皆さまへはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

【訓練概要】

河道閉塞（天然ダム）※により川の流れが堰き止められ、上流側に大量の水がたまった時の水位を迅速かつ的確に観測するため、投下型水位計をヘリコプターにより高松空港から大豊町にしみねのヘリポートへ輸送し、そこから観測地点の境川に運搬する訓練を実施します。

訓練のイメージ



【※河道閉塞（天然ダム）とは】

大雨や地震などによって、山から流れ出た大量の土砂が川を塞ぎ、水の流れをせき止めることを河道閉塞（天然ダム）と呼びます。

河道閉塞の上流では、せき止められた川の水面上昇による浸水被害が生じます。また、河道閉塞が決壊すると大量の土砂や水が下流に流れ出し、大規模災害に発展する場合があります。



【投下型水位計（土研式投下型水位観測ブイ）とは】

- ・ヘリコプターで運搬し、天然ダムに投下するだけで設置が完了でき、水位観測を迅速に開始
- ・作業員が地上で作業を行う必要が無いため、土石流などによる二次災害の遭遇を回避可能
- ・天然ダム湛水域の中央部への設置が可能なため、溪岸からの土砂流入による機器の破損・流失の危険が少なくなり、安定した測定可能

- ① 高松空港
↓↑
- ② にしみね場外離発着場
↓↑
- ③ 観測地点 境川
(徳島県と高知県の県境付近)

